

## 平成 13 年度温室効果ガス排出量の算定方法について

平成 13 年度の温室効果ガス排出量を含む 2003 年提出温室効果ガス排出・吸収目録（インベントリ）においては、以下の通り、基本的に前回報告のものと同じ算定方法を用いることとする。

## エネルギー・工業プロセス分野

- ・算定対象とする排出源、活動量の把握方法、算定式、排出係数の算出方法等について、いずれも前回と変更なし。
- ・石油精製過程における炭素バランスについては、問題点が残っているため、今後、早急に検討することとした。（資料 2）
- ・活動量として用いる「総合エネルギー統計」が大幅に改訂されたことに伴い、過去に遡って活動量を見直した。（資料 3）

## 廃棄物分野

## 運輸分野

## 農業分野

## HFC 等 3 ガス分野

- ・算定対象とする排出源、活動量の把握方法、算定式、排出係数の算出方法等について、いずれも前回と変更なし。

## 森林吸収・土地利用変化（LUCF）分野

- ・1996 年以降のデータが未入手であるため、データの更新は行っていない。

上記の方法は、従来から検討されてきた排出量算定方法の課題の全てを解決するものではなく、今後ともさらなる算定方法の改善が必要である（資料 4）

なお、本年から、気候変動枠組条約に対し、インベントリデータを共通報告様式にて報告するとともに、その算定方法等を記載した国家インベントリ報告書を提出することとしている。